

2010 年国際免疫学会議・組織委員会ニュース

第 6 号:平成 20 年 4 月 4 日 組織委員会事務局発行

日本中に桜が咲き始め、春爛漫の候となって参りました。しばらくご無沙汰しておりましたが、皆様お元気でお過ごしのことと存じます。皆様のご支援のお陰で、この間、組織委員会活動は着々と進んでおります。

まず、組織委員会専属の秘書として、植田真由美さんが（株）コングレからの派遣社員として新しく着任しました。植田さんのメールアドレスは ueda@orgctl.med.osaka-u.ac.jp です。組織委員会の事務的なことについては、このアドレスにご連絡ください。また、委員長同士のメール交換や事務局、コングレとのメールのやりとりの際には、このアドレスに Cc メールとして送付して頂ければ幸いです。各委員会開催の際の必要旅費の算出、支払い業務なども行います。なお、事務書類等の郵送住所は次のようです。

植田真由美

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学大学院医学系研究科 C8、免疫動態学 内

2010 年国際免疫学会議・組織委員会・事務局

Tel: 06-6879-3971, Fax: 06-6879-3979

その他のニュースは次のようです。

1. 昨年 11 月 23 日に山本一彦・日本臨床免疫学会理事長から本国際会議に対して、日本臨床免疫学会が共催団体として参加するとお知らせをいただきました。
2. 昨年 11 月 27 日に西間三馨・日本アレルギー学会理事長から本国際会議に対して、日本アレルギー学会が後援団体として参加するとお知らせをいただきました。
3. プログラム委員会（審良静男委員長、斉藤 隆副委員長）は、第一回の委員会を昨年 12 月 28 日に開催し、その後、第二回委員会を本年 3 月 15 日開催しました。第三回委員会は 4 月 15 日に開催予定であり、次第にプログラムの骨組みが形成されつつあります。

4. 広報委員会（高浜洋介委員長）は、広報用チラシ1万枚を作成し、各国での免疫学会、シンポジウムなどにおいて配布することを始めました。4月5～9日にサンディエゴで開催される第95回アメリカ免疫学会でもこのチラシが配布される予定です。このチラシご入用の折は、上記の植田さんまでご連絡ください。

5. 旅行渉外委員会（中山俊憲委員長）は、昨年12月29日に第一回の委員会を開催し、その後、当会議の旅行関係業務を担当する会社について詳細な調査活動を行ってきましたが、本年3月10日、これをJTBとすることに決定しました。

6. 日本学術会議に対して共同開催申請を出しておりましたが、本年1月24日に同会議から平成22年度に共同主催する国際会議候補として内定したとの通知がありました。共同主催国際会議としての正式決定がなされれば、会場借料、海外出席者が参加するレセプション経費、招へい外国人の滞在経費等の各経費について、その一部が政府予算により支援されるようになるので、非常に有り難いことです。

7. 世界的な経済状況の不安定化にともない、当会議への参加予定者の実質的な見込みについて再検討を行い、最低限の目標として4,000人の有料入場者を得ることとし、これに伴い、予算規模の縮小を図るとともに、より一層の広報活動を行い、海外からの参加者の増大を目指すこととしました。

新しいニュースは当面、以上ですが、皆様からも組織活動に関するニュースがありましたら、遠慮なく事務局までお知らせください。